



夏どり用ワケギ新品種を育成

夏季におけるワケギ栽培は、高温長日により葉身の伸長が停止し、りん茎が肥大するため品質が低下します。そこで、この時期に栽培しても高品質な新品種「**広島12号**」と「**広島13号**」を育成しました(品種登録出願No.26904, 26905;2011年)。

○ 夏季栽培における「広島12号」と「広島13号」の特性 (既存品種「広島11号(木村)」との比較)

休眠打破(減圧吸水処理) : 必要なし

萌芽 : 植付け7日後には、萌芽率100%

生育 : Lサイズの収穫適期に達するのが早く、
「広島12号」で植付3週後、
「広島13号」で3~4週間後(図1)

株重 : 収穫適期は早く、株重が大きい(図2)

りん茎肥大 : りん茎肥大が小さく、品質が良い(図3)

食味 : 同等



広島12号 広島13号 対照:広島11号
新品種の外観

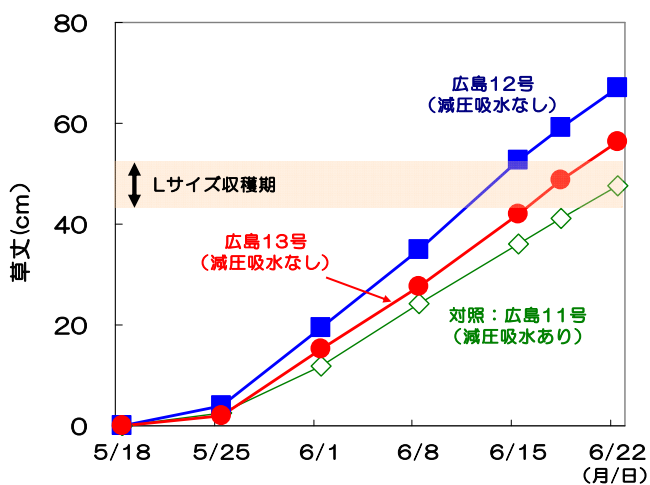


図1 草丈の推移 (2010年)

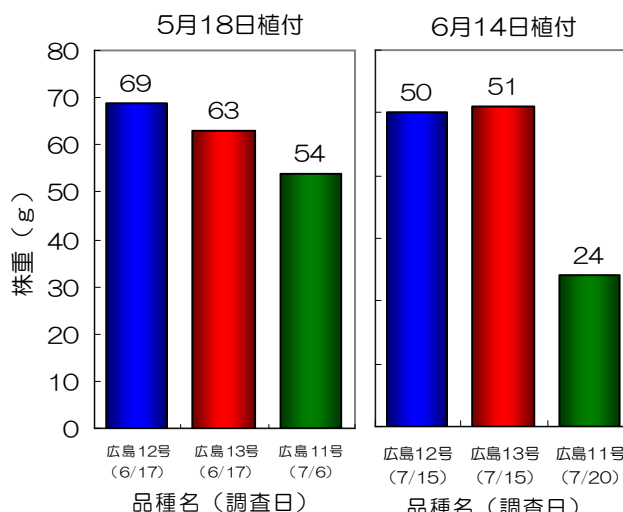
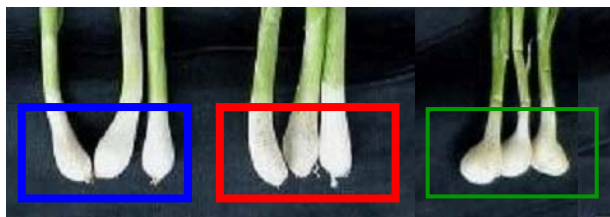


図2 品種別収穫適期における株重



広島12号 広島13号 対照:広島11号

図3 りん茎肥大の様子

注) 6/14植付, 8/3撮影

両品種は、品種登録出願後、**2012年6月に全農ひろしま**と登録種苗利用権許諾契約を締結し、栽培が可能となりました。